

校友さんしや

2004年9月30日 No.31

題字●元総長・細野武男氏



学部創立四〇周年記念事業を 盛り上げよう

記念事業委員会委員長

伊藤 武夫



立命館大学産業社会学部は一九六五年に創立され、今日までに、社会の各方面で活躍する卒業生は二万五千余名にのぼります。学部創立四〇年目を迎える今年度は、全学の協力と学部校友会（リユニオン）の絶大な支援のもとに記念事業を実施します。この事業の意義については、すでに学部長のご挨拶で述べられていますが、二〇一四年に迎える学部創立五〇周年という大きな節目を視野に入れつつ、学部教学四〇年の歩みを振り返り、今後の展開の方向を模索する機会として、この記念事業を実施していきたいと思ひます。

本学部は、社会学・経済学など社会諸科学を基礎に現代社会を総合的に研究する学際的な学部として発足しました。社会学と言へば、従来は文学部哲学科の一領域として位置していましたが、本学部創立時には社会科学系の社会学としてどう展開するかが熱く語られていました。在学生も圧倒的に男性でした。第二次世界大戦後の復興と高度成長の過程で大きく変貌する現代社会を学際的に研究するという構えが、その後の四〇年でのような成果を生み出してきたかを検証することは今年の課題の一つです。本学部は、現在では二学科四学系からなり、在学生四、七〇〇名余を擁する大規模な学部になりましたが、福祉国家の危機と変容、世界的規模で深まる経済的・文化的な格差、文化・スポーツをめぐる今日の状況、戦争と平和の問題などに、今の学部教学がどのように応えようとしているのかを校友を交えて考えるのも課題となります。

本年（二月四日（土））の記念式典・記念講演・レセプションを頂点に、それ以前に五回にわたって実施される学術企画（連続シンポジウム）が四〇周年記念事業の柱です。これは単に在学中の学生・院生、および教職員のためのものではなく、校友や父母が集う交流の場とすることがもう一つの狙いです。四〇周年記念誌（CD-ROM版）の発行、産業社会学会や院生企画、学生企画としてすでに取り組まれている倉木麻衣メモリアルライブ、学生でつくるラジオ放送企画など、多彩な事業計画がすでに実施に移されています。その時々案内は産業社会学部のホームページをご覧下さい。今年の記念事業が学部を再発見するよい機会となることを切に願っています。校友の皆さんの積極的な参加をお願いします。

40周年 記念企画

2004年12月4日(土)

40周年記念ホームカミングデーを開催します!

ゼミ、ご友人同士でお誘い合わせの上、多数ご参加ください。ご家族もぜひ一緒にどうぞ。
記念式典・記念企画・レセプションパーティのほかにも楽しんでいただける企画を検討中です。
決まり次第、ホームページで紹介していきます。

リユニオン総会

午前10時30分〜午前11時30分
立命館大学衣笠キャンパス以学館三二号

四〇周年記念式典・記念企画

午後一時30分〜午後五時
立命館大学衣笠キャンパス以学館一号ホール

記念企画

映画監督 是枝裕和氏を招いて、
映画上映会と対談



●是枝裕和氏 プロフィール
一九六二年、東京生まれ。
八七年に早稲田大学第一文学部文芸学科卒業後、テレビマンユニオンに参加。
主にドキュメンタリー番組を演出。現在に至る。九五年に初監督した映画「幻
の光」が第五回ヴェネツィア国際映画祭で金のオセッラ賞を受賞。注目を集
める。以降「ワンダフルライフ」「デイズ・オブ・スタンズ」と作品を発表。二〇〇四年、
四作目の監督作「誰も知らない」がカンヌ映画祭で絶賛され、主演の柳楽優弥
君が、史上最年少の最優秀主演男優賞を獲得。この夏公開され大ヒット上映
中。

上映映画(交渉中。お楽しみに!)

レセプションパーティ

午後五時30分〜午後七時30分
立命館大学衣笠キャンパス アカデミア立命21内 中野記念ホール
会費 五、〇〇〇円

懐かしい先生方、お友達と楽しいひとときをお過ごしください。
アテネ五輪で活躍されたシンクロの武田美保さん・井村雅代ヘッド
コーチも参加の予定です。ゲストの方々は四〇周年記念企画ホーム
ページ上で紹介していきます。

武田美保さん(産社 九九年卒) アテネ五輪 シンクロで銀メダル獲得
九六年アトランタ五輪・銅、二〇〇〇年シドニー五輪ではチーム・デュエットと
も銀メダル獲得。今年のアテネ五輪では、チーム(フリー)で「人間風車」ハニ
を披露し銀メダル、デュエット(フリー)では「日本人形の舞」で見事、銀メダル
を獲得されました。在学中はスポーツ表現コースを選択。

◆◆◆ 40周年記念学術企画 連続シンポジウムを開催中です! ◆◆◆

入場無料・参加自由。久しぶりにキャンパスに戻ってみませんか?

「21世紀の世界と日本を読み解く—新たな社会パラダイムを求めて—」

- | | |
|-----|---|
| 第1回 | 「市民社会のパワーアップ—大学とNPO・NGOのパートナーシップを探る—」
日時: 2004年7月31日(土) (終了) |
| 第2回 | 「新たなシティズンシップを求めて—福祉社会とガバナンス—」
日時: 2004年10月9日(土) 午後2時~5時 以学館2号ホール |
| 第3回 | 「世界の現在(いま)をどう伝えるか—ジャーナリズムの新たな役割を問う—」
日時: 2004年10月22日(金) 午後2時~5時 以学館2号ホール |
| 第4回 | 「情報化の中での文化的アイデンティティの揺らぎ」
日時: 2004年11月5日(金) 午後2時~5時 以学館2号ホール |
| 第5回 | 「21世紀社会をデザインする—新たな社会パラダイムを求めて—」
日時: 2004年11月26日(金) 午後2時~5時 以学館1号ホール |

※内容や講師など詳細はホームページでご確認ください。

産業社会学部創立四〇周年記念

CD-ROMを作成します。

十二月四日(土)の記念式典にご来場の方に贈呈いたします。学部の歴史、懐かしい写真、そして現在の産業社会学部の姿などを見ていただけます。

【内容】

産業社会学部四〇年の沿革、懐かしの学舎(写真と
思い出)、産業社会学部の最新トピックス、OB・OG
からのメッセージ、在学生からのメッセージ、現在の
学生生活報告、現在の校舎紹介など。

「立命館産業社会学論集」 産業社会学部創立四〇周年記念特別号」 を発刊する予定です。

学生企画

学生たちも四〇周年を記念して
色々な企画に取り組み、盛り上げていきます。

詳細は、産業社会学部40周年記念企画ホームページでご確認ください。
URL <http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/cg/ss/reunion/anniv/anniv.htm>
または立命館大学ホームページ
URL <http://www.ritsumeai.ac.jp/>
▶産業社会学部 ▶40周年記念企画のリンクボタンへ

40周年記念企画に関するお問い合わせは
立命館大学産業社会学部事務局 担当 加藤・上田

十二月四日の産社創立四〇周年記念 式典に校友の皆様の参加を お願い申し上げます。

産業社会学部学部長 佐藤 春吉



前号で簡単にお伝えした本年の学部創立四〇周年記念の取り組みについて、いよいよその企画内容の具体化もおこなわれ、秋以降は学術企画など諸行事が順次取り組まれることとなります。

学部では、伊藤武夫教授を委員長とし、事務局長の有賀郁敏教授、記念式典の企画責任者の奥川豊彦教授、学術企画の責任者の藤田武司教授、記念誌(CD-ROM化)作成の責任者として荒木穂積教授はじめ多くの教職員の協力のもと企画立案・執行準備に力を注いできました。その企画内容の詳細は、本紙掲載で別にご案内の通りです。

私たちは、本記念行事の企画にあたっていくつかの意義と目的を設定いたしました。もっとも重要なことは、学部四〇年の歴史を振り返り、その発展の成果を確認することにも、学部の将来発展の展望を語り合う機会にするとともに、産業社会学部の姿を社会的にアピールしていくということでございます。また、本企画が、校友の皆様の交流の機会となり、校友会「産社リユニオン」の一層の発展の礎となるようにしたいと考えています。この間、学部はまた様々な分野の団体、企業、機関との間で、寄付講座や協定科目、実習、インターシップ、研究協力など様々な協力関係を築いてきました。こうした社会的なネットワークの一層の発展の契機ともしたいと考えています。さらに、今回の企画が校友の皆様と現在在学生との交流の機会となるようにしたいと思っております。

特に、この四〇周年企画を契機に、卒業後大学キャンパスにもとかく疎遠となり、ある

いは交流も途絶えがちになっている多くの校友の方々に集まりいただき、旧交を温めていただく機会にしたいと考えています。願っております。とりわけ、十二月四日の校友会総会、記念式典とその後のレセプションには、ゼミのOB会などを積極的に組織していただき、同級生同士あるいは先輩後輩同士お誘い合わせくださり、美しく様変わりした衣笠キャンパスにご参集いただければ幸いです。ご家族ご同伴も大歓迎です。

記念式典では、先頃カンヌ映画祭で最年少主演男優賞を獲得した柳楽優弥君が主演した映画「誰も知らない」を脚本演出監督された映画監督の是枝裕和氏をお招きして映画上映と対談を予定しています。本企画は、映像系新展開をめざした学部の将来構想とも関わりを持つものとして企画されています。是枝監督は、世界的に注目される非常に才能あふれた映画作家ですが、同時にドキュメント・ジャーナリズムの分野でも強い責任感をもってご発言されておられます。今後の産社における映像系の学術展開に関連しても貴重なアドバイスがいただけるものと期待しています。

校友会幹事会の皆様とも協力して、学部の教職員関係者一同、記念式典・レセプション行事等を校友の皆様が集うにぎやかな楽しい会として成功させるべく、奮闘しております。また、ご家族・皆様におかれましては、十二月四日、お仕事多忙の中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、級友お誘い合わせの上、お揃いでおいでくださいますようお願い申し上げます。

- さんしゃ夏祭り(終了)
昨年度ゼミナール大会の優秀作品、基礎演習活動のパネル展示、履修相談ブースで上回生がアドバイス、模擬店、フリーマーケットの開催
- 40周年記念ゼミナール大会
記念講演会
- 就職活動支援企画 など。

立命館大学
産業社会学部創立40周年記念
Rits
倉木麻衣メモリアルライブ
2004
10.02.SAT
at 立命館大学BKCクインスタジアム



<http://www.ritsumeai.ac.jp>

学部創立四〇周年を迎えるにあたって

産業社会学部リユニオン会長

都鳥 正喜

産業社会学部創立四〇周年を迎えることを、産業社会学部リユニオンを代表して心よりお祝いたします。

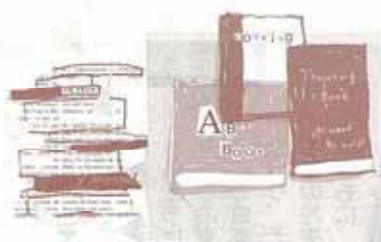
産業社会学部リユニオン（産社校友会）は一九八四年、産社創立二〇周年を機に設立されました。当時、校友会は、府県支部を基礎に組織されていましたが、学部単位としては産社が全学で最初に結成されたものです。

本会の活動は、常に卒業したOB・OGに学部の現状と校友の活動を知らせ結びつけることと、OB・OG会として、学部にとだけ貢献しうるのかということが、大きなテーマでありました。

この四〇周年を迎えるにあたり、リユニオンとしても、資金を拠出し寄付講座を学部とともに開催することを計画しております。また、インターネットのホームページを更新し、

双方向の交流を可能にするよう、その体制作りも検討しています。

産社リユニオンも四〇周年を迎え、新たな校友会づくりをめざすとともに全校友の事業への参加を呼びかけるものです。



◆2003年10月1日から2004年7月31日までの間に退職された先生◆（敬称略）

加藤園子（定年）

◆2003年10月1日から2004年7月31日までの間に着任された先生◆（敬称略）

坂田謙司（メディア認知論）

◆2003年10月1日から2004年7月31日までの間に亡くなられた先生◆

小林幸男先生

ゼミ同窓会の開催を補助します！

下記の内容で補助を行います。
 詳細は事務局までお問い合わせください。

1. 補助金額

参加者1名につき、2,000円。
 ただし、1ゼミにつき上限5万円。
 （年1回のみ）

2. 申請方法

- ①事前に申請用紙を事務室に提出してください。
- ②開催後、下記の提出物を添えて請求してください。
 - ・案内状のコピー
 - ・領収書および振込口座連絡書
 - ・開催報告書および開催の様子を写した写真
 - ・参加者名簿

ご覧になりましたか？ 産業社会学部リユニオンのホームページ。

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ss/reunion/>
 または 立命館大学トップページ ▶ 産業社会学部 ▶ リユニオンへ。

〔内容〕

リユニオンの紹介、リユニオンからのお知らせ（証明書発行、ゼミ同窓会開催補助の案内など）、開催されたゼミ同窓会の様子、同窓会開催告知・開催報告のページ、など

住所変更もホームページから送信できます。

☆同窓会の開催告知や開催報告などを掲載したい場合は、
 リユニオンホームページ ▶ リユニオンからのお知らせ
 ▶ ゼミ同窓会開催案内・開催報告のページまで！

